

講義名	基礎技能 A (数的処理)		
科目区分	教養基礎		
担当教員	酒井 義之		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1 年生	単位数	2
		講義コード	44022

主題と概要

本学の大半の学生は、数学が苦手であったり、しっかりとした基礎が出来ていないのではないだろうか。しかし、大学で学び、また社会に出てから活躍するには、最低限必要な数学的な知識や技能がある。実際、数学の基礎力がないと、就職試験に通らないし、その能力が不要な業界を選ぼうとすると就職して社会で活躍するための選択肢が着しく狭まってしまふ。一方、中学入試、高校入試、大学入試の数学の問題は、選別のための「難問」も多いが、多くの人にとって、そのような難問が解ける必要はなく、基礎力があれば十分である。この観点からすると、これまで数学が苦手であった学生であっても、それは「難問」にくじけていただけであり、基礎力を培う力がある可能性は大きい。この科目では、数学の基礎力に関する自分自身の現状を知り、最低限必要な基礎力を身につけることを目的とする。

到達目標

社会で活躍する際には数学的素養が必要であることに気づいている。
設定された学習項目を着実に理解し解答のための数式と説明文を書くことができる。

提出課題

授業の中で説明する。

評価の基準

平常点 (演習課題の提出、授業への発表等による参加度) と試験の成績をおよそ半々の重みで評価し成績とする。

履修にあたっての注意・助言他

1 回目の授業で「クラス分けテスト」を実施するため履修希望者は必ず出席すること。

教科書

. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業中に配布する

授業計画

- 1 . 概要説明、「クラス分けテスト」
 - 2 . 社会人基礎問題 (1) 割合、食塩水濃度
 - 3 . 社会人基礎問題 (2) 売買損益 速さ n 進数
 - 4 . ルートの計算、式の展開公式
 - 5 . 因数分解
 - 6 . 1 次方程式の解法と応用問題
 - 7 . 連立 1 次方程式の活用
 - 8 . 1 次方程式のまとめ
 - 9 . 2 次方程式の解法と応用問題
 - 10 . 1 次不等式の解法と応用問題
 - 11 . 比を利用した応用問題
 - 12 . 集合と応用問題
 - 13 . 場合の数、順列、組合せ
 - 14 . 確率
 - 15 . 全体まとめ
- 第 1 回目の授業で「クラス分けテスト」を実施して、第 2 回目以降はレベル別に分かれる。
授業計画は、一例であり、レベルや履修人数、担当教員により異なる。

予習・復習

予習の必要はない。理解でき、解答できるようになるまでしっかりと復習に取り組むこと。教務部 (学修支援コーナー) で担当者に質問して教えてもらうことも有効な方策である。

備考